## DirectX Ⅲ

評価テスト

① グラフィックスパイプラインにおいて、頂点の陰影計算、射影変換を行うシェーダーの 名前を答えなさい。

頂点シェーダー

② グラフィックスパイプラインにおいて、ピクセルの陰影計算を行うシェーダーの名前を答えなさい。

ピクセルシェーダー

- ③ テクスチャをモデルに張り付ける際に使用される頂点データの名前を答えなさい。 UV 座標
- ④ 頂点シェーダーではほとんどのケースでワールド行列とビュー行列とプロジェクション行列を用いて頂点変換が行われる。ワールド行列を mWorld、ビュー行列を mView、プロジェクション行列を mProj としたときに、頂点が正しく変換される行列を作成する式を記述しなさい。行列の乗算は×で記述するものとする。また、行列の乗算は左側から行われるものとする。

解答例 mProj × mWorld × mView

 $mWorld \times mView \times mProj$ 

#### 設問1

フレームバッファに描きこまれたピクセルの前後関係を記録するバッファの名前を何というか下記から選びなさい。

ア ステンシルバッファ イ リングバッファ ウ 深度バッファ イ コマンドバッファ

#### 設間2

設問1のバッファを使用して、ピクセルの前後関係を判定するテストの名前を下記から ア アルファテスト イ ストレステスト ウ 単体テスト エ 深度テスト

#### 設問3

ピクセルに描きこむ $\alpha$ 値を使用して、半透明合成、加算合成、減算合成などを行う手法を何というか下記から選びなさい。

ア アルファブレンディング イ カリング ウ 投影シャドウ エ SSAO

## 設問4

設問 3 の手法のうち半透明合成を行う際のピクセルカラーの計算の仕方を記述しなさい。 ソースアルファを  $SRC_{\alpha}$ 、ソースカラーを SRC、ディスティネーションカラーを DST とする。

## 解答例)

 $SRC \times (1.0 - SRC_{\alpha}) + DEST \times SRC_{\alpha}$ 

## $\operatorname{DirectX} \amalg$

# 設問1

パーティクルなどの板ポリを使用したエフェクトを実装する場合に用いられる、板ポリを常にカメラの方向に向かせる手法を何というか下記から選びなさい。

ア:Zテスト

②: ビルボード

ウ:αブレンド

工:加算合成

#### 設問2

設問1の手法を行うために板ポリのワールド行列にカメラの①\_\_\_\_\_行列を乗算する必要がある。

下線1に当てはまる内容を下記から選びなさい。

⑦:回転

イ : 平行移動

ウ : 拡大

## 設問3

乱数の初期化に使用される引数に Random seed と呼ばれるものがあります。同期型の通信対戦ゲームなどを作成する場合、Random seed をユーザー間で共有しておくことが重要になります。もし、Random seed が共有されていない場合なにが起きる可能性があるか記述しなさい。

同期ずれが起きる